

科目名 (科目番号)	生理機能検査学実習Ⅰ (時間割参照)	教員名	飯田 典子 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	B205研究室	
授業概要		身近にある人の生理機能を測定し、測定法やその技術および得られた結果の解析と評価、その生理学的意義について学ぶ。また、自ら被験者を体験して患者心理を理解し、患者への対応や急変時の安全対策、感染症対策についての知識を習得する。						
目的・目標		目的:心拍数、血圧、肺活量、視力、聴力、触覚、味覚、嗅覚、体温などを測定し、測定法やその技術を学び、得られた結果から、その生理学的意義を理解する。 目標:自らを被験者とした測定結果から、その生理学的意義を理解し、説明できる。						
準備学習		毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	循環器系の基礎的実習		到達目標:聴診法による心音の聴取と指尖脈波による心拍数を測定することにより、最も身近にある基礎的循環器系実習について理解する。 学習内容:心音聴診、指尖容積脈波				
	2	非観血的血圧測定		到達目標:聴診法とオシロメトリック法の測定原理と血圧値の測定誤差要因を理解する。 学習内容:血圧測定、聴診法、オシロメトリック法				
	3	呼吸機能の意味と肺機能検査		到達目標:肺気量が気圧、温度などによって異なるため、肺活量を測定し、その気量値から気体の法則を理解する。 学習内容:スパイロメーター、肺活量、排気量分画				
	4	視覚の神経生理と視機能検査		到達目標:眼球と眼底の構造について復習し、水晶体の屈折率と視力への影響を矯正眼鏡の有無とランドル環の使用によって理解する。 学習内容:視力検査				
	5	聴覚の神経生理と聴力検査		到達目標:オージオメータを用いて標準純音による正常被験者の正常聴力閾値を測定し、聴力検査の基準について理解する。 学習内容:聴力検査				
	6	体温測定と循環動態による皮膚温度測定		到達目標:サーミスタやサーモグラフによる体表面の温度分布を測定し、皮膚表面の血液循環状態を理解を理解する。 学習内容:サーモグラフィ				
	7	皮膚刺激に対する皮膚感覚測定		到達目標:皮膚の触覚、温・冷覚、痛覚などの感覚受容器について復習するとともに、皮膚の2点を同時に刺激した場合の2点弁別閾値について理解する。 学習内容:皮膚感覚、2点弁別など				
	8	味覚・嗅覚機能検査		到達目標:味の種類や濃度を舌で味わうことにより、味覚の仕組み、舌の部位別感受性および味質（濃度）とその感受性閾値との関係、味覚検査法について理解する。さらに嗅覚の仕組みとその感受性閾値との関係、嗅覚機能検査法について理解する。 学習内容:味覚検査、嗅覚機能検査				
成績評価の方法・基準		期末試験（50％）＋レポート（50％）で評価する。						
教科書		実習手引書・プリント資料を配布			堀川宗之		真興交易(株)医書出版部	
参考図書		臨床検査法提要(改訂第35版)			金井正光 監修		金原出版	
教員からのメッセージ		事前に配布するプリントおよび教科書の当該実習項目についてしっかり読んで実習に臨むこと。実習中にも要点を板書するので、しっかりメモをとること。実習項目ごとにレポート提出があり、当日提出になるので予習をして実習に臨むこと。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						